

法話

亡き大切な人と共に生きる

医療の進歩とともに多死社会に突入した現在、生きていることが当たり前と感じ、いかに生きていくかを日々の生活から考えることが少ないと思います。

有意義な人生を自分らしく歩んでいくには、必ず訪れる死を意識し考え準備していくことが大切だと思います。

東日本大震災の被災者支援から、亡き人とともに生きること、そして今この時間を大切に生きることを法話を交えてお話いただきます。

お話を聞きこれからのご自分の生き方を大切に考えていただきたいと思います。

～岳彦講師のお話はとても力強いお話です。

ぜひ、元気なパワーをいただきに講演におこしく下さい。～

講師： 光照院 住職 吉水 岳彦師

1978年東京生まれ。大正大学人間学部仏教学科卒業。同大学大学院に進み、2009年に博士号（仏教学）を取得。

現在、大正大学非常勤講師、淑徳大学兼任講師。浄土宗光照院住職。

2009年に若手浄土宗僧侶有志と「社会慈業委員会ひとさじの会」を発足。

ホームレス状態にある人や身寄りのない人の葬送支縁、浅草・山谷・上野地域における炊き出し、夜回り、東日本大震災被災地支援などに取り組まれています。

日時 令和 2年 2月 1日（土曜日） 10時半～12時半

場所 たまプラーザテラス ゲートプラザ2階「プラーザホール by iTSCOM」

《 お申込み・お問い合わせ先 》

申込締切り 令和 2年 1月 29日（水）

メール uketuke@aobakumc.or.jp

電話 045-910-3120（平日9～17時）

ホームページ zaitakurenkei.aoba-caremap.org/

担当者 岩間 藤田 日田 斉藤

入場

無料



住所：横浜市青葉区美しが丘 1-1-2

たまプラーザテラス ゲートプラザ 2階

「プラザホール by iTSCOM」

【注意】

* 朝 8時の時点で 大雨・暴風・大雪警報が発令されている

場合は講演会を延期させていただきます*